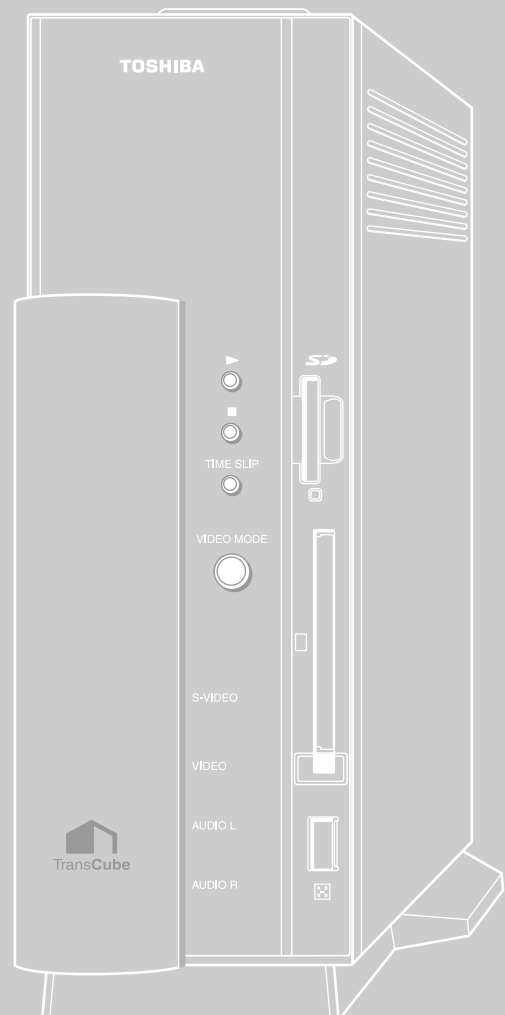


# 本体の設定

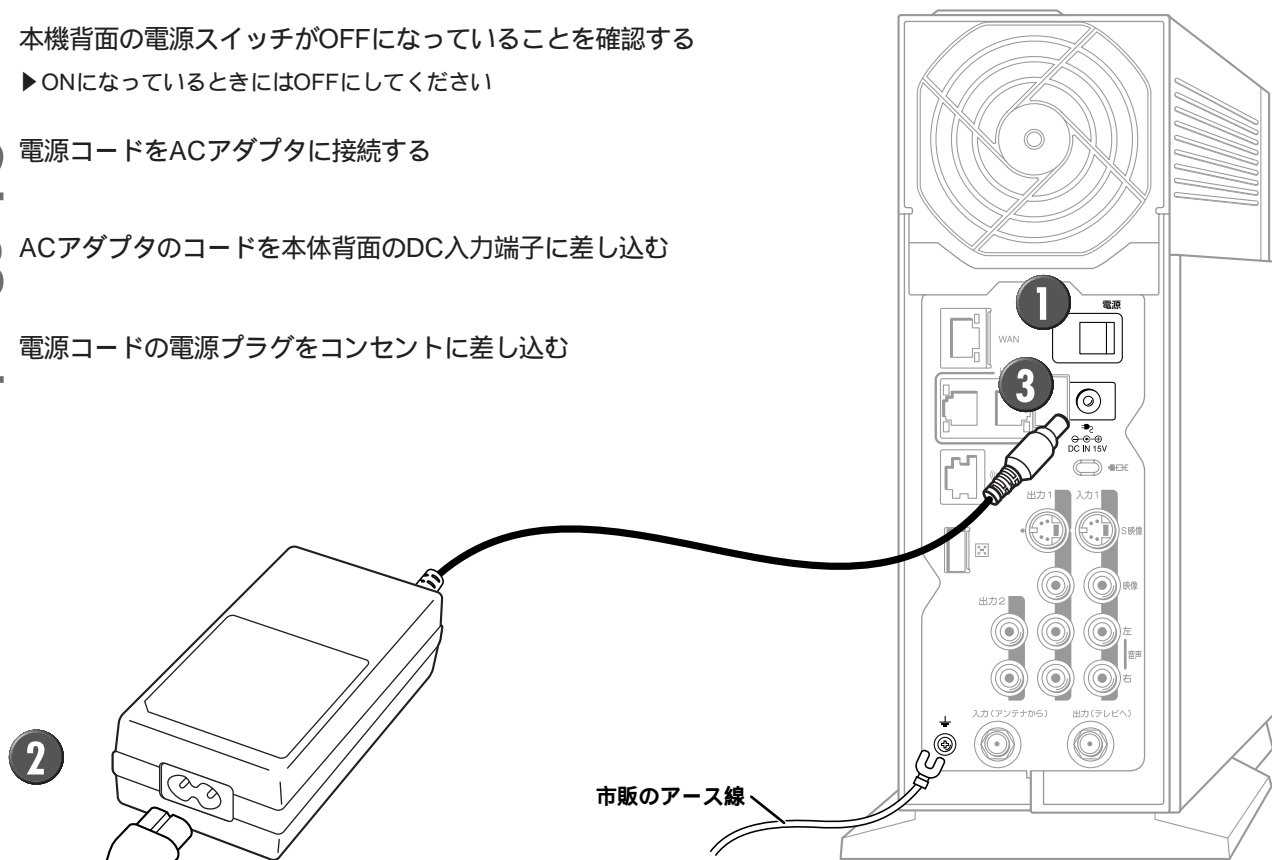
電源の接続 .....	38
電源スイッチのON/OFF .....	39
日時とチャンネル地域の設定 .....	40



# 電源の接続

付属のACアダプタを本機に接続します。

- 1 本機背面の電源スイッチがOFFになっていることを確認する  
▶ONになっているときにはOFFにしてください
- 2 電源コードをACアダプタに接続する
- 3 ACアダプタのコードを本体背面のDC入力端子に差し込む
- 4 電源コードの電源プラグをコンセントに差し込む



## アース線について

アース線を接続すると、落雷などによる機器の故障や事故を予防できます。アース線は本機には付属していません。市販のアース線をご利用ください。また、アース線を接続する場合は、必ずACアダプタのコードを本体背面のDC入力端子に差し込む前に行ってください。

## お知らせ

ACアダプタを取り外すときには、まずTransCube本体背面の電源スイッチをOFFにし、本体表示窓の表示が消えたことを確認してから、ACアダプタのコードを本体のDC入力端子から抜いてください。次に、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを無理に引っ張ったり、折り曲げたり、ねじったり、継ぎ足したりしないでください。

また、利用しないときには、必ず電源プラグをコンセントからはずしてください。

# 電源スイッチのON/OFF

はじめに

各部名称と準備

テレビなどの接続

本体の設定

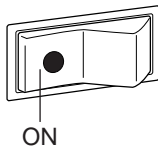
パソコンとの接続

インターネットへの接続

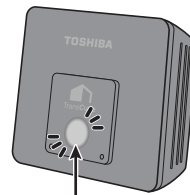
困ったときは

## 電源スイッチを入れる

- 1 本体背面の電源スイッチをONにする

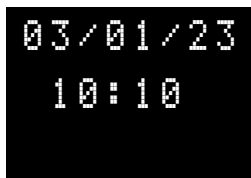


▶しばらくすると、本体表示窓に「Welcome to TOSHIBA」と表示されます。また、802.11a無線LANアクセスポイントのランプが青色に点灯し、素早く点滅します。



ランプがブルーに点灯し、素早く点滅

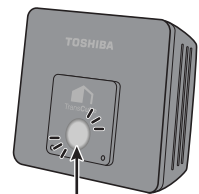
▶さらに数秒後、本体表示窓の内容は日付・時刻表示に変わり、ビデオモードLEDがオレンジに点灯します。また、802.11a無線LANアクセスポイントのランプは青色のまま、ゆっくり点滅する状態に変わります。



VIDEO MODE



LEDがオレンジに点灯



ブルーのランプがゆっくり点滅

### お知らせ

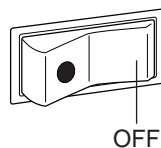
- ・本体表示窓に日付・時刻が表示されるまでは、本体の起動処理中です。日付・時刻表示が出るまでは、電源スイッチをOFFにしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ・電源スイッチをONにしてから起動処理の完了まで、約90秒ほどかかります。

## 電源スイッチを切る

- 1 起動処理が完了していることを確認して、本体背面の電源スイッチをOFFにする

本体表示窓に日付と時刻が表示された時点で、起動処理は完了しています。

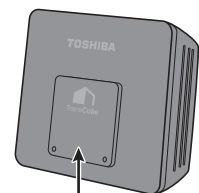
▶しばらくすると、本体表示窓の表示が消え、ビデオモードLEDと802.11a無線LANアクセスポイントのランプが消灯します。



VIDEO MODE



LEDが消える



ランプが消える

### お知らせ

- ・本体表示窓の日付・時刻表示が消え、ビデオモードLEDが消灯するまでは、本体の終了処理中です。表示が消えるまでは、電源スイッチをONにしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ・電源スイッチがONの状態では、電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜くときは、必ず本体背面の電源スイッチをOFFにし、本体表示窓の日付・時刻表示が消え、ビデオモードLEDが消灯したことを確認してから電源プラグを抜いてください。

# 日時とチャンネル地域の設定

お買い上げ後に、TransCubeを初めて使用するときは、日時とチャンネル地域を設定する必要があります。以下の操作を行って日時とチャンネル地域を設定するメニューを表示してください。

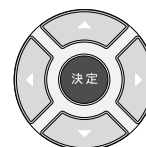
## お知らせ

ご利用のテレビによっては、画面がはみ出したり、表示の一部が欠けて表示される場合があります。ご利用のテレビの取扱説明書をご覧ください。

4



使用するボタン



5



## 1 テレビとTransCubeが接続されていることを確認する


▶接続方法は30ページをご参照ください。

## 2 TransCubeの電源がONになっていて、本体表示窓に日付と時刻が表示されていることを確認する

▶電源がOFFになっているときは、本体背面の電源スイッチをONにし、本体表示窓に日付と時刻が表示されるまでお待ちください。

## 3 テレビの電源をONにし、TransCubeからの映像が表示できるチャンネルにテレビを切り替える

▶たとえばTransCubeからの映像 / 音声の出力端子をテレビの「ビデオ1」に接続した場合、「ビデオ1」からの入力を表示できるようにテレビの入力チャンネルを切り替えておきます。

▶リモコンの設定が済んでいれば、[TV入力切替] ボタン  で切り替えができます。

**参照** リモコンでテレビを操作するには 25ページ

## 4 リモコン / 本体の [ビデオモード] ボタン を押す

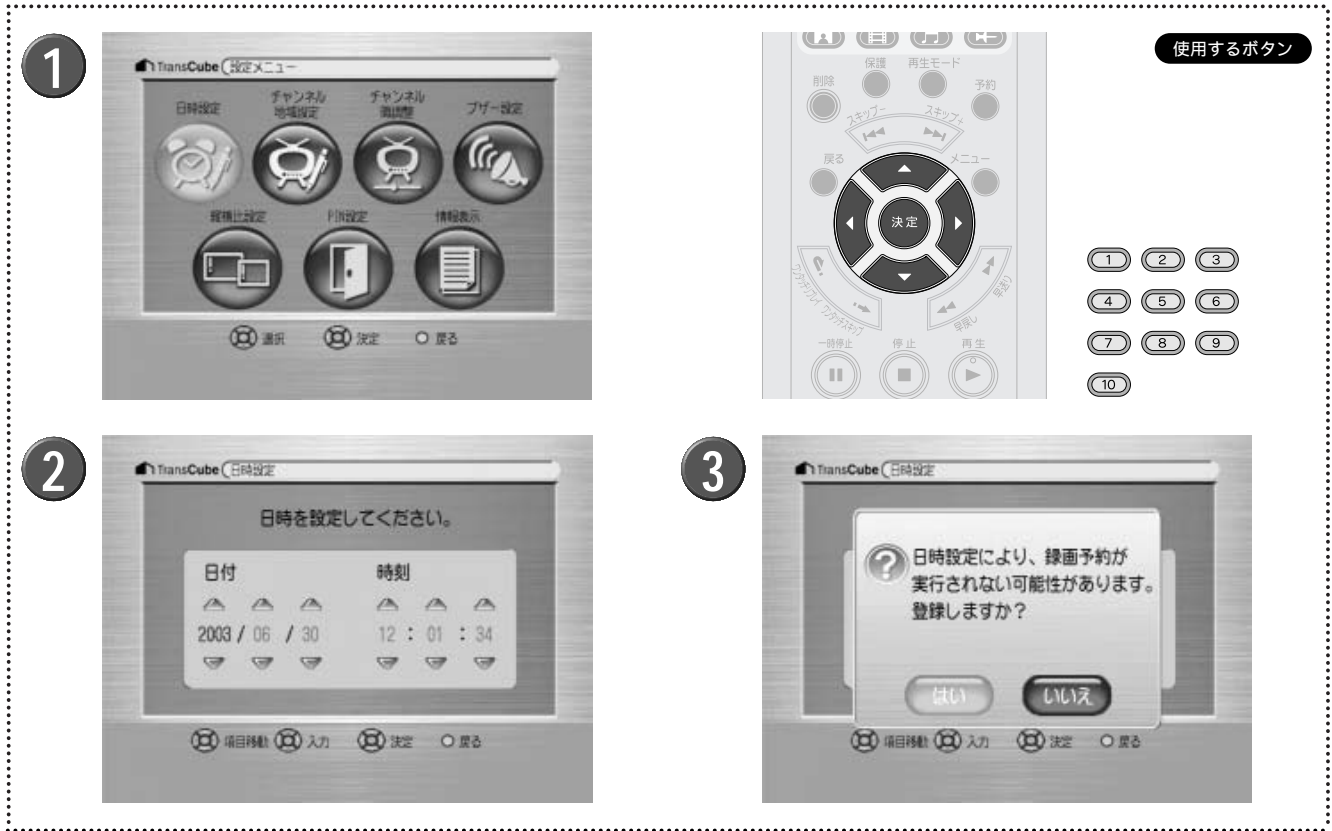
▶画面に「日時設定、チャンネル地域設定をおこなってください」とメッセージが表示されます。

## 5 リモコンの [決定] ボタン か、本体の [再生] ボタンを押す

▶メッセージが消えて、設定メニューが表示されます。

# 日時の設定

TransCubeの日時の設定を行います。



**1** [方向キー] で設定メニューの [日時設定] を選択し、[決定] ボタン を押す

**2** 日時設定画面が表示されるので、現在の日時を設定して [決定] ボタン を押す

▶ [方向キー] の [ ] [ ] ボタン で数値の増減を行います。

▶ [チャンネルテンキー] の [1] ~ [10] ボタン ~ で数値を入力することもできます。「0」を入力するときは [10] ボタンを押します。

▶ [方向キー] の [◀] [▶] ボタン で設定項目を移動します。

**3** 予約した録画が実行されない可能性があることを確認するメッセージが表示されるので、[はい] を選択して [決定] ボタン を押す

▶ キャンセルしたいときは [いいえ] を選択して [決定] ボタンを押します。

**4** 日時の設定が終了し、設定メニューに戻る

## お知らせ

6分以内に開始される予約がある場合は、時刻の変更はできません。

はじめに

各部名称と準備

テレビなどの接続

本体の設定

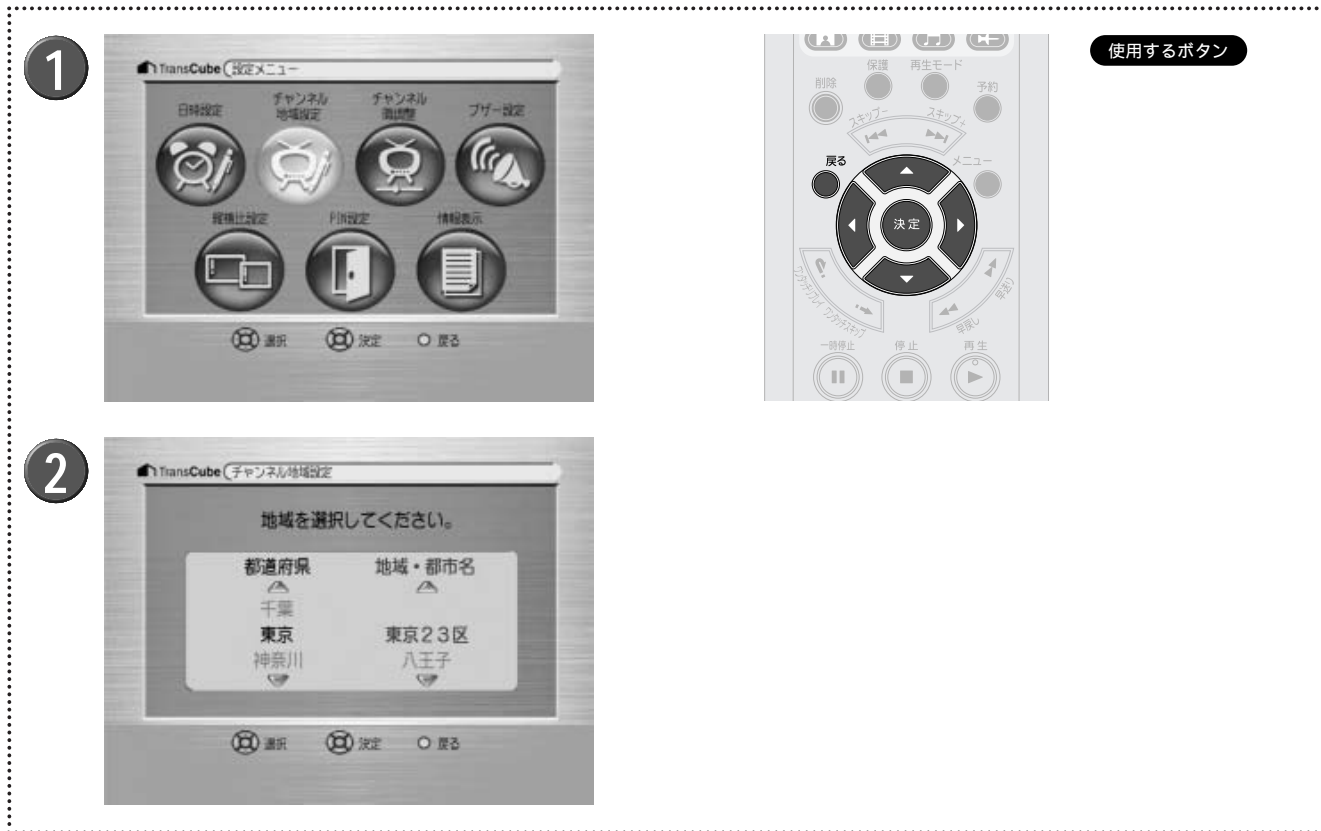
パソコンとの接続

インターネットへの接続

困ったときは

## チャンネル地域の設定

TransCubeのチャンネル地域の設定を行います。



1 方向キー で設定メニューの [チャンネル地域設定] を選択し、[決定] ボタン を押す

2 チャンネル地域設定画面が表示されるので、以下の項目を設定する

[方向キー] の [ ] [ ] ボタン で「都道府県」を選択し、[決定] ボタン を押す

[方向キー] の [ ] [ ] ボタン で「地域・都市名」を選択し、[決定] ボタン を押す

▶ 「都道府県」の設定に戻るときは、[戻る] ボタン を押します。

3 設定内容を確認するメッセージが表示されるので、[決定] ボタン を押す

▶ メッセージが消えて、設定メニューに戻ります。

### お知らせ

チャンネル地域設定で設定されていないチャンネルやケーブルテレビ（CATV）のチャンネルを視聴するためには、LIVE MEDIA for TransCube V2でチャンネル設定を手動で行う必要があります。

**参照** 手動によるチャンネル設定（CATVをご利用の場合など）  
LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアル 181ページ

## 設定の終了

設定が終了したらTransCube本体のメインメニューを表示し、ルータモードに切り替えます。ルータモードについては次の「TransCubeのモードについて」を参照してください。



1 設定メニューでリモコンの[メニュー] ボタン か [戻る] ボタン ボタンを押す

▶ 画面にTransCubeのメインメニューが表示されます。

**参照** メインメニューの操作 本体操作マニュアル 8ページ

2 リモコン/本体の[ビデオモード] ボタン を押す

▶ TransCubeがルータモードに切り替わります。TransCubeのモードについては、次の「TransCubeのモードについて」を参照してください。

## TransCubeのモードについて

TransCubeには、次の2つのモードがあり、それぞれ利用できる機能や消費電力が異なります。

### ・ルータモード

ルータ機能が動作している状態です。インターネット接続機能が使えます。テレビ・ビデオ機能、メディアライブラリ機能は操作できません。本体起動直後はルータモードです。

ルータモードでは、必要なとき以外はハードディスクを停止し、電力消費を抑えます。テレビ視聴などの機能をご利用にならないときは、ルータモードになっていることをご確認ください。

### ・ビデオモード

ビデオモードでは、TransCubeのすべての機能が使えます。消費電力はルータモードより大きくなります。

### ワンポイント

- ・予約した録画は、いずれのモードであっても実行されます。ルータモードの場合は、ルータモードのまま録画を行います。
- ・入力自動録画は、ルータモード時のみ実行され、ルータモードのまま録画を行います。

**参照** BS放送などを自動的に録画する（入力自動録画） LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアル 41ページ

### 現在のモードを知るには

本体前面のビデオモードLEDの色で、現在のTransCubeのモードがわかります。

- ・ルータモード：オレンジ
- ・ビデオモード：ブルー

また、パソコンのLIVE MEDIA for TransCube V2（以下、LIVE MEDIA for TransCubeと呼びます）でTransCubeに接続してビデオモードになっている場合には、本体表示窓には「パソコン」アイコンが表示されます。



## モードの切り替え

TransCubeは、リモコン / 本体ボタンの操作やパソコンのLIVE MEDIA for TransCubeからの接続操作に応じて、自動的にモードを切り替えます。

### ビデオモードに切り替える

次のいずれかの操作を行うとビデオモードになります。また、すでにビデオモードになっているときにこれらの操作を行った場合は、引き続きビデオモードとなります。

- ・リモコン / 本体の [ビデオモード] ボタン  を押してメニューを表示する。
- ・LIVE MEDIA for TransCubeからTransCubeに接続する。

### ルータモードに切り替える

次の条件をすべて満たす場合、TransCubeはルータモードになります。

- ・LIVE MEDIA for TransCubeで接続しているパソコンがない。
- ・リモコン / 本体の [ビデオモード] ボタン  の操作によってメニューを閉じている。

操作の詳細は下記をご参照ください。

**参照** 操作を始める前に 本体操作マニュアル 6ページ

**参照** アプリケーションの起動と終了 LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアル 8ページ

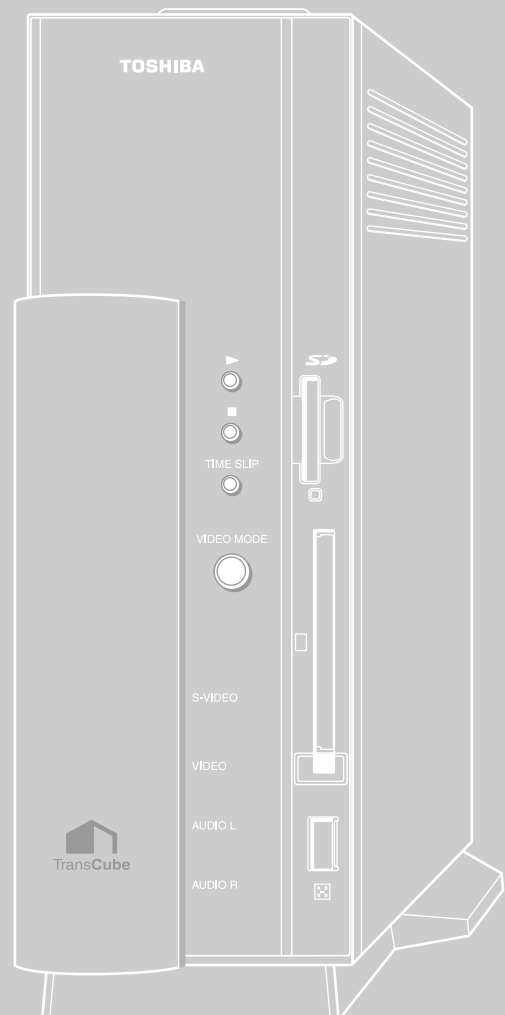
使用状況とTransCubeのモードと表示、モードの切り替え方法をまとめると、次のようになります。

使用状況	現在のモード	ビデオモード LED	パソコン アイコン	モードの切り替え方法
だれも使用していない	ルータモード	オレンジ	-	リモコン / 本体の [ビデオモード] ボタンを押してメニューを表示するか、パソコンでLIVE MEDIA for TransCubeを起動する
リモコンのみで使用中	ビデオモード	青	-	リモコン / 本体の [ビデオモード] ボタンを押してメニューを閉じる
パソコンのみで使用中	ビデオモード	青		LIVE MEDIA for TransCubeを終了する
リモコン + パソコンで使用中	ビデオモード	青		リモコン / 本体の [ビデオモード] ボタンを押してメニューを閉じ、パソコンでLIVE MEDIA for TransCubeを終了する



# パソコンとの接続

パソコンとの接続に関するご注意 .....	46
LIVE MEDIA for TransCube V2のインストール .....	49
無線LAN接続の準備 .....	53
有線LAN接続の準備 .....	58
無線LAN / 有線LAN共通の設定 .....	59
TransCubeへの接続 .....	61
つながらないときは .....	62



# パソコンとの接続に関するご注意

## TransCubeとパソコンの無線LAN接続について

TransCubeは、IEEE802.11a規格（外付けの5GHz無線LANアクセスポイントによる）とIEEE802.11b規格（内蔵の無線LANアクセスポイント機能による）の2種類の無線LAN規格に対応しています。

802.11a無線LANと802.11b無線LANでは、データ転送速度が異なります。それぞれの無線LAN規格のデータ転送速度は次のとおりです。

- ・802.11a無線LAN：理論値最大54Mbps
- ・802.11b無線LAN：理論値最大11Mbps

次項で説明するマルチユーザー機能は、TransCubeとパソコンの間のデータ転送速度によっては制限が加わる場合があります。特に802.11b無線LANでパソコンとTransCubeを接続している場合は、この制限が加わるケースが多くなります。

これらの制限を受けにくくするためには、本機付属の無線LANカードを使用し、802.11a無線LANでTransCubeと接続することをお勧めします。

### ワンポイント

・本機付属の無線LANカードを使用しているにもかかわらず、無線LANのデータ転送速度が期待どおりに上がらない場合は、パソコンとTransCubeの通信が802.11b無線LANで行われている可能性があります。下記ページをご参照のうえ、802.11a無線LANでパソコンとTransCubeが接続されていることをご確認ください。

**参照** 困ったときは 無線LANの通信速度が期待どおりに上がらない。 104ページ

・802.11a無線LANでパソコンとTransCubeを接続している場合でも、通信状態が良好ではないときは、データ転送速度によるマルチユーザー機能の制限が加わる場合があります。

## マルチユーザー機能について

TransCubeでは、リモコンまたは本体によるビデオモード操作とLIVE MEDIA for TransCubeによるビデオモード操作を、同時に行うことができます。たとえば、ひとりがリモコンでビデオを再生し、もうひとりがパソコンでテレビを見る、といった操作が行えます。これをマルチユーザー機能と呼びます。

マルチユーザー機能では、次のような操作を同時に行うことができます。

[例] リモコンとパソコン2台から同時に行える操作の例

（ほかにも同時に使用できる操作の組み合わせはあります。これらの組み合わせがすべてではありません）

リモコン	パソコン1	パソコン2
テレビ視聴	ビデオタイトルの再生	ビデオタイトルの再生*1
予約した録画の実行 + ビデオタイトルの再生	ビデオタイトルの再生*1	ビデオタイトルの再生*1
録画中の番組の視聴	ビデオタイトルの再生*1	ビデオタイトルの再生*1
音楽の視聴	テレビ視聴	ビデオタイトルの再生*1
写真の表示	録画中の番組の視聴*2	ビデオタイトルの再生*1
テレビ視聴	写真の表示	ビデオタイトルの再生

\*1 画質変換再生ではない場合に限り。画質変換再生については47ページをご覧ください。

\*2 録画画質に対し、TransCubeとパソコンとの間のデータ転送速度が十分な場合に限り。詳しくは48ページの「録画中の番組をパソコンで視聴する場合の制限について」をご覧ください。



## 同時に操作できるユーザー数と機能

TransCubeを同時に操作できるパソコンの数は最大2台です。リモコンからはいつでも操作が行えます。また、同時に使用できる機能の上限は、次のようになります。

- ① テレビ視聴はリモコンまたはパソコンの1台に限る
- ② 録画中のテレビ視聴は、録画中のチャンネルのみ視聴できる
- ③ 録画は1タイトルに限る（2つ以上のタイトルを同時に録画することはできません）
- ④ ビデオの再生は、リモコン+パソコン2台の最大3台まで同時に行える

### お知らせ

次の「データ転送速度によるマルチユーザー機能の制限」で説明する「画質変換再生機能」を使用している場合は、①④に関して制限が加わります。画質変換再生機能については、「データ転送速度によるマルチユーザー機能の制限」をご覧ください。

## データ転送速度によるマルチユーザー機能の制限

TransCubeに保存されているビデオタイトルをパソコンで再生する際、ビデオタイトルの録画画質に対してTransCubeとパソコンの間のデータ転送速度が十分ではないときは、TransCubeでビデオタイトルの再生画質をデータ転送が可能な画質に変換してから転送します。これを「画質変換再生」と呼びます。

この画質変換再生機能により、データ転送速度が十分ではない場合でもパソコンで映像を視聴することが可能になります。ただし、画質変換再生機能の使用中はマルチユーザー機能に制限が加わります。画質変換再生と同時に使用できない操作は以下のとおりです。

- ・録画
- ・ほかのパソコンでのテレビ視聴
- ・リモコンでのビデオタイトルの再生
- ・ほかのパソコンでの画質変換再生

また、録画画質によっては録画中の番組の視聴が行えない場合があります。このため、TransCubeとパソコンの間のデータ転送速度を高速に保つことをお勧めします。

### TransCubeとパソコンの間のデータ転送速度を改善するためには

上記の「パソコンとTransCubeの間のデータ転送速度が十分ではない場合」の制限が加わる原因として、以下の3つが挙げられます。

- ① 802.11b無線LANで接続している
- ② 802.11a無線LANで接続しているが、TransCubeとパソコンの間の距離や遮蔽物などの条件が良好ではない
- ③ 10BASE-T規格の有線LANで接続している

①に関しては、802.11a無線LANで接続することで、データ転送速度が改善される場合があります。接続している無線LANの確認方法は、「困ったときは」の「無線LANの通信速度が期待どおりに上がらない」(104ページ)をご覧ください。

②に関しては、802.11a無線LANアクセスポイントやパソコンの向きを調整したり、距離を近づけて通信速度の改善を行ってください。

③に関しては、TransCubeとパソコンの間の接続に利用しているLANケーブル、ハブ、ネットワークインターフェースカード等の機器を100BASE-TX規格以上のものにしてください。

### ワンポイント

TransCubeとパソコンの間の通信速度の目安は、以下の手順で確認できます。

- ① スタートメニューから【スタート】 【コントロールパネル】を選択する
- ② 「ネットワークとインターネット接続」 「ネットワーク接続」をクリックする
- ③ 使用している「ネットワーク接続」のアイコンを右クリックし、メニューから「状態」を選択する
- ④ ネットワーク接続の「状態」ウィンドウが表示されるので、「速度」の欄を確認する



**画質変換再生の制限について**

画質変換再生中はマルチユーザー機能に制限が加わりますが、これは「エンコーダ」と「デコーダ」というデータ変換機能が、それぞれ2つ以上の機器から同時に使用できないためです。

・画質変換再生とエンコーダ/デコーダ

「エンコーダ」は、テレビなどの映像をパソコンで扱える映像データに変換する機能、「デコーダ」は録画されたビデオタイトルの映像データをテレビに表示できる映像に変換する機能です。

画質変換再生では、録画済みのタイトルを一度デコーダで映像ソースに変換し、再びエンコーダで転送可能な画質の映像データに再変換します。つまり、画質変換再生は、エンコーダとデコーダの両方を同時に使用します。

このため、画質変換再生を、エンコーダやデコーダを使用する操作と同時に行うことができません。

・画質変換再生時のマルチユーザー機能の制限

エンコーダまたはデコーダを使用するため、画質変換再生と同時に行えない操作は次のとおりです。

画質変換再生と同時に行えない操作		各操作が使用する機能		画質変換再生が使用する機能		
		エンコーダ	デコーダ	エンコーダ	デコーダ	
リモコン	録画	使用する	-	使用する	使用する	エンコーダまたはデコーダを同時に2つ以上の機器から使用することはできません。後から要求された操作は実行されません。*
	ビデオタイトルの再生	-	使用する	使用する	使用する	
パソコン	テレビ視聴	使用する	-	使用する	使用する	
	録画	使用する	-	使用する	使用する	
	画質変換再生	使用する	使用する	使用する	使用する	

\* 画質変換再生中に予約した録画の開始時刻になった場合は、予約した録画の実行を優先するため、画質変換再生は停止されます

[参考] 画質変換再生と同時に行える操作の例

（ほかにも同時に使用できる操作の組み合わせはあります。これらの組み合わせがすべてではありません）

画質変換再生と同時に行える操作		各操作が使用する機能		画質変換再生が使用する機能		
		エンコーダ	デコーダ	エンコーダ	デコーダ	
リモコン	テレビ視聴*1	-	-	使用する	使用する	同時に使用できます。
パソコン	ビデオタイトルの再生*2	-	-	使用する	使用する	

\*1 ほかのパソコンからテレビ視聴を行っていない場合に限る

\*2 画質変換再生ではない場合に限る

**録画中の番組をパソコンで視聴する場合の制限について**

ワンタッチ録画やお好み再生など、テレビ視聴と録画を同時に行うときは、次のような制限事項があります。

- ・TransCubeとパソコンの間のデータ転送速度によっては、録画中のテレビ視聴が行えない場合があります。
- ・テレビ視聴時にお好み再生を行うときは、設定されている録画画質に関係なく、視聴中の画質で録画を開始します。

# LIVE MEDIA for TransCube V2のインストール

パソコンにLIVE MEDIA for TransCubeをインストールする手順を説明します。なお、LIVE MEDIA for TransCubeのインストールには、ご利用のパソコンにWindows® XP Operating System Service Pack 1 (以下「Windows XP SP1」、または単に「Windows XP」と表記します) がインストールされている必要があります。

## LIVE MEDIA for TransCube V2の動作環境

LIVE MEDIA for TransCubeを利用するには、次の条件を満たすハードウェア/ソフトウェア環境が必要です。

	必要性能	推奨性能
CPU	Pentium 1GHz	Pentium 1.5GHz
メモリ	256MB	384MB
HDD空き容量	500MB	1GB以上
OS	Windows XP SP1	Windows XP SP1以上

対応OSは、Windows XPのみとなります。  
AGP接続のグラフィックアダプタが必要です。また、XGA (1024×768ドット) 以上の画面解像度が必要です。

### お知らせ

- ・上記動作環境を満たすパソコンであっても、東芝製のノートパソコン以外については動作保証を行っておりませんので、あらかじめご了承ください。最新の動作確認機種につきましては、当社のウェブサイト ([http://dynabook.com/pc/wme/index\\_j.htm](http://dynabook.com/pc/wme/index_j.htm)) をご参照ください。
- ・必要なCPU性能を満たしていても、パソコンの省電力機能により、CPU動作クロックが下がっている場合は、テレビ視聴・録画・再生時にコマ落ち等が発生することがあります。

### お知らせ

ご使用のパソコンのファイルシステムがNTFSでなくFAT32の場合、作成できるファイルのサイズが、1ファイルあたり最大4Gバイトに制限されます。これを録画時間に換算すると、以下のようになります。

- ・長時間1モード：約5時間
- ・長時間2モード：約3時間
- ・標準モード：約2時間
- ・高画質モード：約1時間

このため、上記制限時間以上のファイル(録画済みタイトルなど)は、パソコンのハードディスクにそれ以上の空き容量があっても、パソコンにコピーできません。

## Windows XP Service Pack 1へのアップデートについて

SP1以前のWindows XPをご利用の場合、LIVE MEDIA for TransCube V2をインストールする前にWindows XP SP1 (またはそれ以上) をインストールする必要があります。

### Windows XP SP1へのアップデートの準備

次で説明する「Windows XP SP1へのアップデート」の操作を行う前に、必ず次の3つのURLに掲載されている情報をよくお読みください。Windows XP SP1へのアップデートに関する重要な情報が含まれています。

Windows関連情報 (DynaBook.com)

<http://www.dynabook.com/assistpc/win.htm>

Windows XP Service Pack対応状況 (DynaBook.com)

<http://www.dynabook.com/assistpc/winxp/xpsp1.htm>

Windows XP Service Packオフィシャルページ (マイクロソフト株式会社)

<http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/pro/downloads/servicepacks/sp1/>

上記のURLは2003年7月現在のもので、URLや内容は予告なく変更される場合があります。

はじめに

各部名称と準備  
本製品の準備

テレビなどの接続

本体の設定

パソコンとの接続

インターネットへの接続

困ったときは

**Windows XP SP1へのアップデート**

Windows XP SP1へのアップデートは、以下のように行います(以下の説明は、2003年7月現在のものです。手順やURLなどは予告なく変更される場合があります)



**1** Internet Explorerを起動し、マイクロソフト株式会社の「Windows XP Service Pack オフィシャルページ」を開く

▶ Windows XP Service Pack オフィシャルページのURL

```
http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/pro/downloads/servicepacks/sp1/
```

**2** 内容をよく読んで、「差分インストール」をクリックする

▶ 説明しているホームページは、2003年7月現在のものです。内容は予告なく変更される場合があります。

**3** 「Windows XP Service Pack 1a 差分インストール」ページが開くので、内容をよく読んで、[今すぐ Windows XP SP1aをダウンロード] ボタンをクリックする

**4** 「Windows Update へようこそ」ページが開くので、[更新をスキャンする] ボタンをクリックする

**5** 「インストールする更新の選択」ページが開くので、[更新の確認とインストール] ボタンをクリックする

▶ 「お使いのコンピュータ用の重要な更新が x 個見つかりました」と表示されます。「x個」の部分はお使いのシステムによって異なります。

**6** 「選択した更新の合計」ページが表示されるので、更新が2つ以上の場合、「Windows XP Service Pack 1」以外は [削除] ボタンを押して削除し、[今すぐインストールする] ボタンをクリックする

**7** 使用許諾契約への同意を確認するダイアログボックスが表示されるので、内容をよく読み、同意できるときは [同意します] ボタンをクリックする

▶ [同意しません] ボタンをクリックするとインストールは中止されます。

**8** ダウンロードとインストールのダイアログボックスが開き、進行状況が表示される

**9** Windows XP Service Pack 1セットアップウィザードが起動する

▶ 以降の作業は、表示される指示に従って進めてください。

**お知らせ**

Windows XPに「コンピュータの管理者」でログオンしてインストールを行ってください。「スタート」メニュー「コントロールパネル」「ユーザー アカウント」で「コンピュータの管理者」と表示されているユーザーが、「コンピュータの管理者」です。「コンピュータの管理者」でないユーザーでログオンしている場合は、「スタート」メニュー「ログオフ」「ユーザーの切り替え」を選択し、「コンピュータの管理者」を選んでログオンし直してからインストール作業を開始してください。

# LIVE MEDIA for TransCube V2をインストールする

はじめに

各部名称と準備

テレビなどの接続

本体の設定

パソコンとの接続

インターネットへの接続

困ったときは



**1** パソコンを起動し、本機付属の「Driver, Application CD Ver2.0」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

▶ここでは、CD-Rドライブ、CD-RWドライブ、DVD/CD-RWドライブなど、CD-ROMを読むことができるドライブを総称して、「CD-ROMドライブ」と呼びます。

**2** 自動的に「TransCube Driver, Application CD」画面が表示されるので、「インストール項目を選びます」の項目から「LIVE MEDIA for TransCube」をクリックする

## ワンポイント

使用しているパソコンの環境によっては、CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしただけでは「TransCube Driver, Application CD」画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMをセットしたCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

ダブルクリックしても「TransCube Driver, Application CD」画面が表示されないときは、CD-ROMドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「開く」を選択して、表示されたアイコン一覧の中から、右図のアイコンをダブルクリックします（ご使用の環境によって表示が異なります）。



**3** インストールウィザードが起動するので、[次へ] ボタンをクリックする

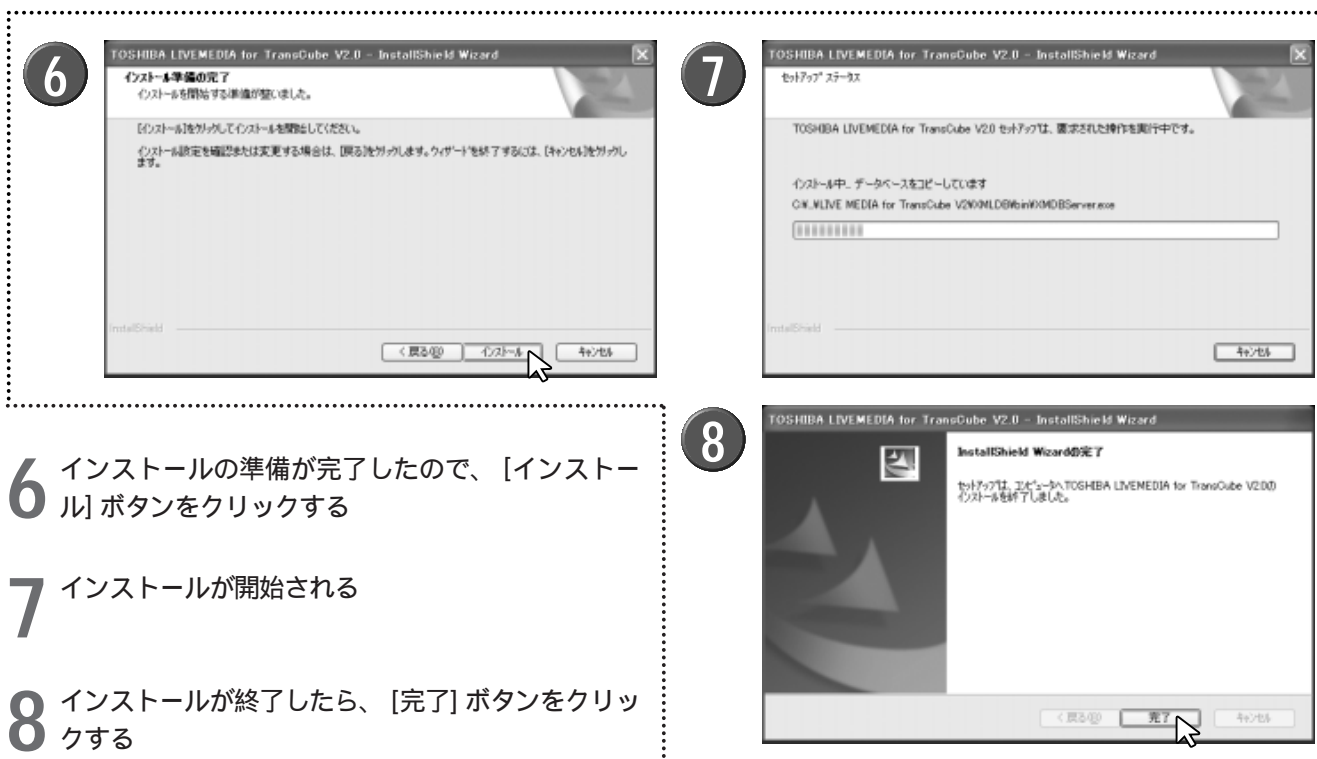
**4** ソフトウェアの使用許諾契約に関する条項が表示されるので、内容をよく読み、同意できる場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」の左のラジオボタンを選択し、[次へ] ボタンをクリックする

▶同意しない場合はセットアップが完了しません。

**5** インストール先を決定する。「TOSHIBA LIVE MEDIA for TransCube V2のインストール先」に表示されるフォルダを確認し、そのフォルダでよければ[次へ] ボタンをクリックする

▶初期設定では [Program Files] フォルダの [TOSHIBA] フォルダの中に [LIVE MEDIA for TransCube V2] フォルダを作成してインストールします。

▶ほかのフォルダにインストールしたい場合は、[変更] ボタンをクリックしてフォルダを選択してから [次へ] ボタンをクリックしてください。



6 インストールの準備が完了したので、[インストール] ボタンをクリックする

7 インストールが開始される

8 インストールが終了したら、[完了] ボタンをクリックする

**お知らせ**

Windows XPに「コンピュータの管理者」でログオンしてインストールを行ってください。「スタート」メニュー 「コントロールパネル」 「ユーザー アカウント」で「コンピュータの管理者」と表示されているユーザーが、「コンピュータの管理者」です。「コンピュータの管理者」でないユーザーでログオンしている場合は、「スタート」メニュー 「ログオフ」 「ユーザーの切り替え」を選択し、「コンピュータの管理者」を選んでログオンし直してからインストール作業を開始してください。

**ワンポイント**

Acrobat Reader5.05、WinDVD Creatorのインストールについては、「LIVE MEDIA for TransCube V2操作マニュアル」190～192ページをご覧ください。

## LIVE MEDIA for TransCube V2の削除

LIVE MEDIA for TransCubeを削除するときは、次のように操作します。

- ① [スタート] メニュー [すべてのプログラム] [LIVE MEDIA for TransCube V2] [LIVE MEDIAの削除] を選択する
- ② 削除を確認するダイアログボックスが表示されるので、[はい] をクリックする
  - ▶ LIVE MEDIA for TransCubeが削除され、再起動を促すダイアログボックスが表示されます。

また、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」を利用して、LIVE MEDIA for TransCubeを削除することもできます。「プログラムの追加と削除」を利用する場合は、次のように操作します。

- ① [スタート] メニュー [コントロールパネル] を選択する
- ② [プログラムの追加と削除] をクリックする
- ③ 「プログラムの追加と削除」ウィンドウで「TOSHIBA LIVE MEDIA for TransCube V2.0」を選択し、[変更と削除] ボタンをクリックする
- ④ ファイルの削除を確認するダイアログボックスが表示されるので、[OK] ボタンをクリックする
- ⑤ 「メンテナンスの完了」と表示されるので、[完了] ボタンをクリックする
  - ▶ LIVE MEDIA for TransCubeによって作成されたデータも削除したいときは、「LIVE MEDIAによって作成されたデータも削除する」のチェックボックスをチェックしてください。



# 無線LAN接続の準備

TransCubeに付属している無線LANカードはIEEE802.11a、IEEE802.11bの両方の規格をサポートしたコンボカードです。この無線LANカードを使用してTransCubeに接続する場合は、次の操作が必要です。

なおご使用のパソコンに802.11a/802.11b無線LANが内蔵されている場合は、56ページの「ご使用のパソコンに802.11a/802.11b無線LANが内蔵されているときは」、802.11b無線LANが内蔵されている場合は、57ページの「ご使用のパソコンに802.11b無線LANが内蔵されているときは」を先に参照してください。

## ワンポイント

有線LANでTransCubeに接続する場合は、「有線LAN接続の準備」(58ページ)へお進みください。

## お知らせ

Windows XPに「コンピュータの管理者」でログオンしてインストールを行ってください。「スタート」メニュー「コントロールパネル」「ユーザーアカウント」で「コンピュータの管理者」と表示されているユーザーが、「コンピュータの管理者」です。「コンピュータの管理者」でないユーザーでログオンしている場合は、「スタート」メニュー「ログオフ」「ユーザーの切り替え」を選択し、「コンピュータの管理者」を選んでログオンし直してからインストール作業を開始してください。

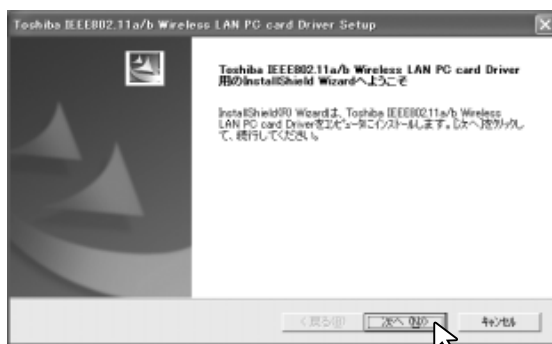
## 無線LANカードを接続する

TransCube付属の無線LANカードのドライバをパソコンにインストールし、TransCubeの無線LANへ接続します。

3



4



**1** TransCubeの電源を入れる  
▶ 本体表示窓に日付と時刻が表示され、ビデオモードLEDがオレンジに点灯すれば、起動処理は完了です。

**2** パソコンを起動し、本機付属の「Driver, Application CD Ver2.0」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする  
▶ ここでは、CD-Rドライブ、CD-RWドライブ、DVD/CD-RWドライブなど、CD-ROMを読むことができるドライブを総称して、「CD-ROMドライブ」と呼びます。

**3** 自動的に「TransCube Driver, Application CD」画面が表示されるので、「インストール項目を選びます」の項目から「無線LANドライバ」をクリックする

**4** インストールウィザードが起動するので、[次へ] ボタンをクリックする

## ワンポイント

使用しているパソコンの環境によっては、CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしただけでは「TransCube Driver, Application CD」画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMをセットしたCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

ダブルクリックしても「TransCube Driver, Application CD」画面が表示されないときは、CD-ROMドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから「開く」を選択して、表示されたアイコン一覧の中から、右図のアイコンをダブルクリックします(ご使用の環境によって表示が異なります)。



LMTV2.exe

はじめに

各部名称と準備

テレビなどの接続

本体の設定

パソコンとの接続

インターネットへの接続

困ったときは



**5** ソフトウェアの使用許諾契約に関する条項が表示されるので、内容をよく読み、同意できる場合は [はい] ボタンをクリックする

▶ 同意しない場合はセットアップが完了しません。

**6** インストール先を決定する。「インストール先のフォルダ」に表示されるフォルダを確認し、そのフォルダでよければ [次へ] ボタンをクリックする

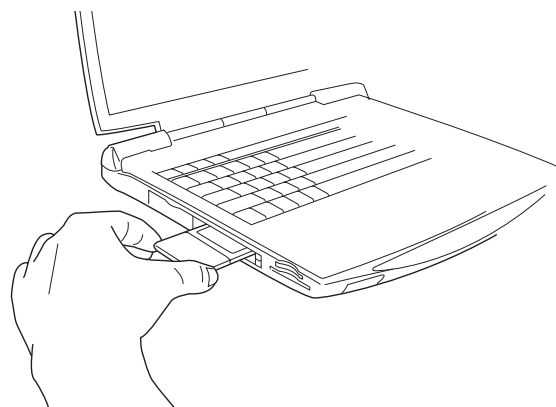
▶ 初期設定では [Program Files] フォルダの [Toshiba] フォルダの中に [Wireless Lan PC card] フォルダを作成してインストールします。

▶ ほかのフォルダにインストールしたい場合は、[参照] ボタンをクリックしてインストールしたいフォルダを決定し、[次へ] ボタンをクリックしてください。

**7** インストールが開始される

**8** インストール中に「PCカードをPCMCIAスロットに今挿入してください」と表示されるので、本機付属の無線LANカードをパソコンのPCカードスロットに挿入する

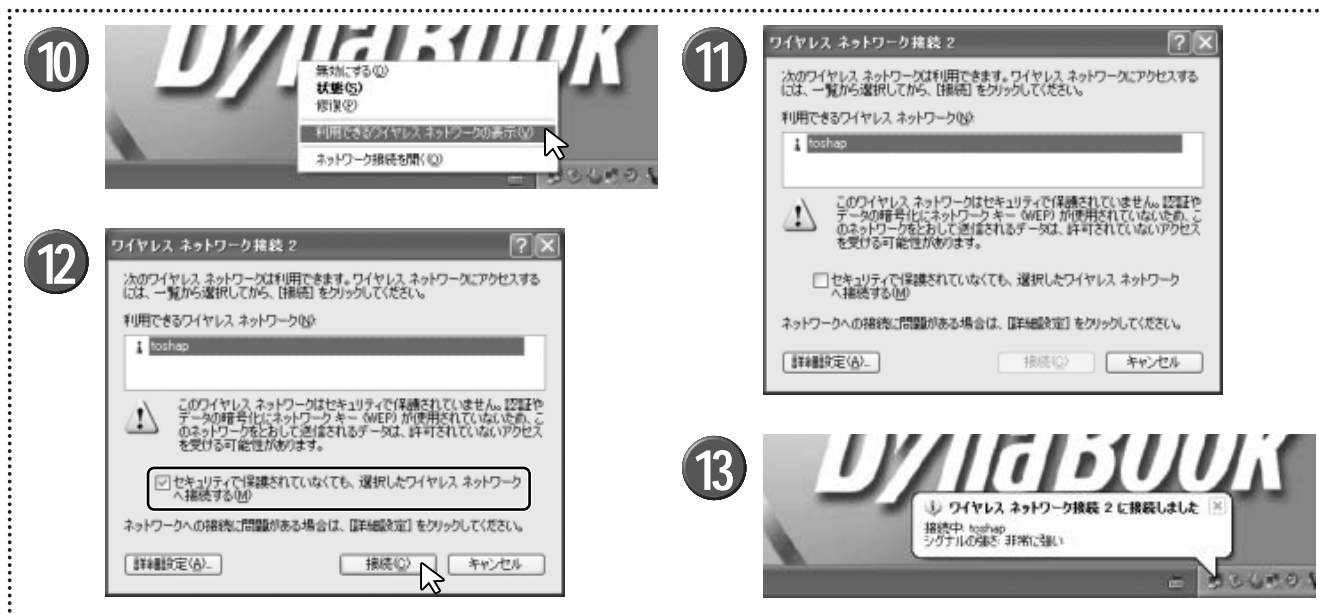
▶ 本機付属の無線LANカードを、パソコンのPCカードスロットに静かに奥まで挿入してください。



▶ 無線LANカードを挿入すると、自動的にインストールが進みます。

**9** 無線LANカードのドライバのインストールが完了するので、[完了] ボタンをクリックする

▶ インストールが完了すると、タスクトレイに [無線LAN] のワイヤレスネットワークアイコンが表示されます。



**10** タスクトレイにあるワイヤレスネットワークアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「利用できるワイヤレスネットワークの表示」を選択する

**11** 「ワイヤレスネットワーク接続」ウィンドウが表示されるので、接続可能なネットワークを選択する

▶ 「利用可能なネットワーク」には、「toshap」と表示されます。これがTransCubeの無線LAN接続の名称です。

▶ 「利用可能なネットワーク」の「toshap」を選択します。

#### ワンポイント

- ・ 「toshap」は商品購入時の初期値です。お客様が変更された場合はその値を選択してください。
- ・ 複数の無線LANアクセスポイントがある場合、「ワイヤレスネットワークへの接続」ダイアログボックスの「利用可能なネットワーク」には、複数の候補が表示されます。この場合も、「toshap」（またはお客様が設定された値）を選択してください。

**12** 「セキュリティで保護されていない場合でも、選択したワイヤレスネットワークへ接続する」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れ、[接続] ボタンをクリックする

▶ 商品購入時は無線LANはセキュリティで保護されていないため、「セキュリティで保護されていない場合でも、選択したワイヤレスネットワークへ接続する」のチェックボックスにチェックを入れます。お客様が86ページの「簡単設定ウィザード」でWEPキーを設定した後は、WEPキーを入力するテキストボックスが表示されます。

**13** TransCubeの無線LANに接続する

▶ 接続が成功すると、タスクトレイのネットワーク接続アイコンに「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。

▶ 接続に成功しない場合は、下記ページをご参照ください。

**参照** つながらないときは 62ページ

#### ワンポイント

TransCube側で「802.11a無線LAN」と「802.11b無線LAN」で同じネットワーク名（SSID）を設定している場合、通常は「802.11a無線LAN」に接続します。

お客様のパソコンとTransCubeを無線LAN接続する際に、「802.11a無線LAN」と「802.11b無線LAN」のどちらか特定の無線LANと接続したい場合には、TransCube側で「802.11a無線LAN」と「802.11b無線LAN」で異なるネットワーク名を設定し、パソコン側での接続設定時に接続したいほうのネットワーク名を選択してください。

**参照** 802.11a無線LAN ルータ設定マニュアル 48ページ

**参照** 802.11b無線LAN ルータ設定マニュアル 50ページ

**参照** 802.11a無線LANと802.11b無線LANに異なるネットワーク名を設定したとき  
ルータ設定マニュアル 17ページ

## ご使用のパソコンに802.11a/802.11b無線LANが内蔵されているときは

802.11a/802.11bの両方の無線LANに対応している無線LAN内蔵パソコンをご使用の場合は、本機付属の無線LANカードを使用する必要はありません。パソコンに内蔵された無線LANをTransCubeで使用するために、次の操作を行ってください。



**1** TransCubeの電源を入れる  
▶ 本体表示窓に日付と時刻が表示され、ビデオモードLEDがオレンジに点灯すれば、起動処理は完了です。

**2** パソコンを起動し、本機付属の「Driver,Application CD Ver.2.0」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする  
▶ ここでは、CD-Rドライブ、CD-RWドライブ、DVD/CD-RWドライブなど、CD-ROMを読むことができるドライブを総称して「CD-ROMドライブ」と呼びます。

**3** 自動的に「TransCube Driver,Application CD」画面が表示されるので、この画面を閉じる  
▶ ご使用の環境によっては、自動的に「TransCube Driver,Application CD」画面が表示されない場合があります。この場合は、この操作は必要ありません。

**4** スタートメニューから [スタート] [ファイル名を指定して実行] を選択する

**5** 「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスが表示されるので、名前の欄に以下のファイルを入力し、[OK] ボタンをクリックする

D:\W-LAN\Driver\WLANUp.exe

▶ 「D:」はパソコンのCD-ROMドライブです。ご利用のパソコンのCD-ROMドライブが「D:」ではない場合は、ご利用のパソコンのCD-ROMドライブのドライブレターを入力してください。

▶ ファイルの場所とファイル名を入力する代わりに、[参照] ボタンをクリックして、CD-ROM内の「W-LAN」フォルダ「Driver」フォルダ「WLANUp.exe」を選択してもかまいません。

**6** 実行が終了したら、パソコンを再起動する  
▶ 自動的に再起動は行われませんので、手動で必ず再起動を行ってください。

以上の手順が終了したら、パソコンの起動後に55ページの手順11～13を行ったのち、「無線LAN / 有線LAN共通の設定」(59ページ)へお進みください。

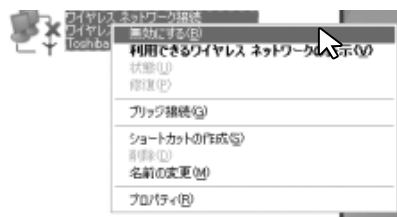
## ご使用のパソコンに802.11b無線LANが内蔵されているときは

ご使用のパソコンに802.11b無線LANが内蔵されている場合は、次の操作が必要になります。

TransCube付属の無線LANカードを使用する場合

無線LANを内蔵しているパソコンで本機付属の無線LANカードを使用する場合、そのままでは無線LAN機能が2つ存在することになり、本機付属の無線LANカードで確実に接続できないおそれがあります。次のいずれかの操作を行い、あらかじめパソコン内蔵の無線LAN機能を無効にしてください。

- ① パソコンに無線LANスイッチがある場合は、無線LANスイッチをOFFにする（無線LANスイッチについてはご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください）。
- ② パソコンに無線LANスイッチがない場合は、[スタート]メニュー [コントロールパネル]を選択し、「ネットワークとインターネット接続」 「ネットワーク接続」をクリックする。次に「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンを右クリックしてメニューから「無効にする」を選ぶ。



① ② のいずれかの操作を行ったら、53ページの手順1へお進みください。

### ワンポイント

パソコン内蔵の無線LANの機能を停止して、付属の無線LANカードを使用している場合は、内蔵の無線LANの「ワイヤレスネットワーク接続」のアイコンと、付属無線LANカードの「ワイヤレスネットワーク接続」のアイコンが2つ表示されます。



ワイヤレス ネットワーク接続 2  
有効  
Toshiba CardBus Wireless Netwo...

内蔵の無線LANの「ワイヤレスネットワーク接続」のアイコンは、上記の① または ② の操作によって右のように表示されます。



①の操作を行った場合



②の操作を行った場合

付属の無線LANカードの「ワイヤレスネットワーク接続」のアイコンは、カーソルをアイコンの上に移動すると、「Toshiba CardBus Wireless Network Adapter」と表示されます。



以降の設定や操作を行うときは、付属の無線LANカードの「ワイヤレスネットワーク接続」のアイコンを操作してください。

パソコンに内蔵された無線LANを使用する場合

パソコンに内蔵された無線LANを使用する場合には、次の手順を行ってください。

- ① TransCubeの電源を入れる
- ② パソコンの電源を入れ、パソコンの無線LANスイッチがOFFになっている場合はONにする（無線LANスイッチについてはご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください）
- ③ タスクトレイにある「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンを右クリックし、メニューから「利用できるワイヤレスネットワーク接続の表示」を選ぶ



以上の操作を終了したら、55ページの手順11～13を行ったのち、「無線LAN / 有線LAN共通の設定」(59ページ)へお進みください。

### お知らせ

お客様がご利用のパソコンに内蔵されている無線LANがIEEE802.11a規格に対応していない場合は、内蔵無線LANからTransCubeへの接続を、802.11a無線LANで行うことはできません。

TransCubeへ802.11a無線LANで接続したい場合は、TransCube付属の無線LANカードをご利用ください。

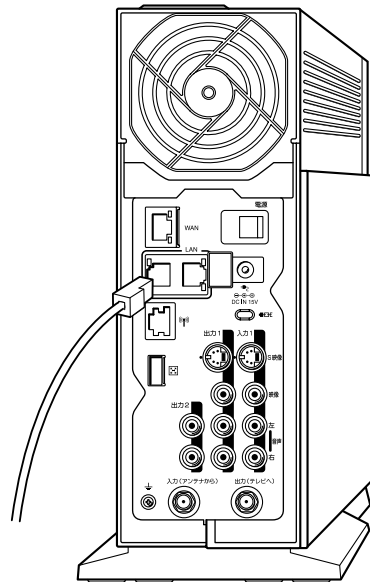
なお、お客様がご利用のパソコンに内蔵されている無線LANがIEEE802.11a規格に対応しているかどうかについては、ご利用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

# 有線LAN接続の準備

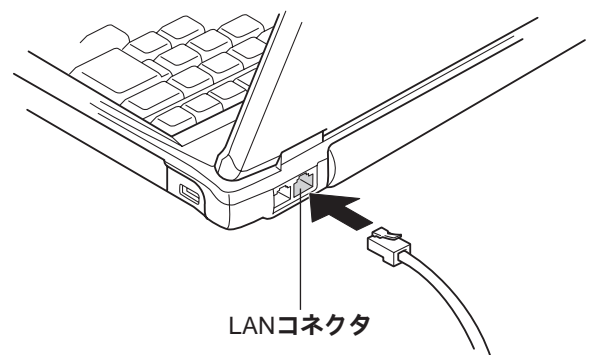
TransCubeとパソコンをLANケーブルで接続して利用することも可能です。この場合、TransCube本体とパソコンをストレートケーブル、またはクロスケーブルで接続します。

## 1 TransCubeのLAN側コネクタに、LANケーブルのプラグを差し込む

- ▶ TransCubeは2つのLANコネクタを備えています。
- ▶ 2つのLANコネクタに機能の違いはありません。



## 2 パソコンのLANコネクタに、もう一方のLANケーブルのプラグを差し込む

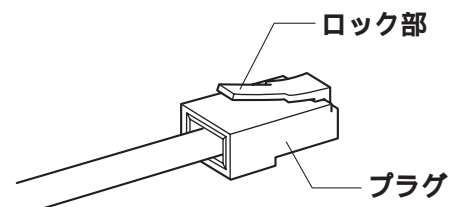


## 3 TransCubeの本体表示窓に、ネットワークアイコンが表示される



### お知らせ

LANケーブルをはずしたり差し込むときは、プラグの部分を持ってください。また、はずすときは、プラグのロック部を押しながらずしてください。LANケーブルを引っ張らないでください。プラグが破損することがあります。

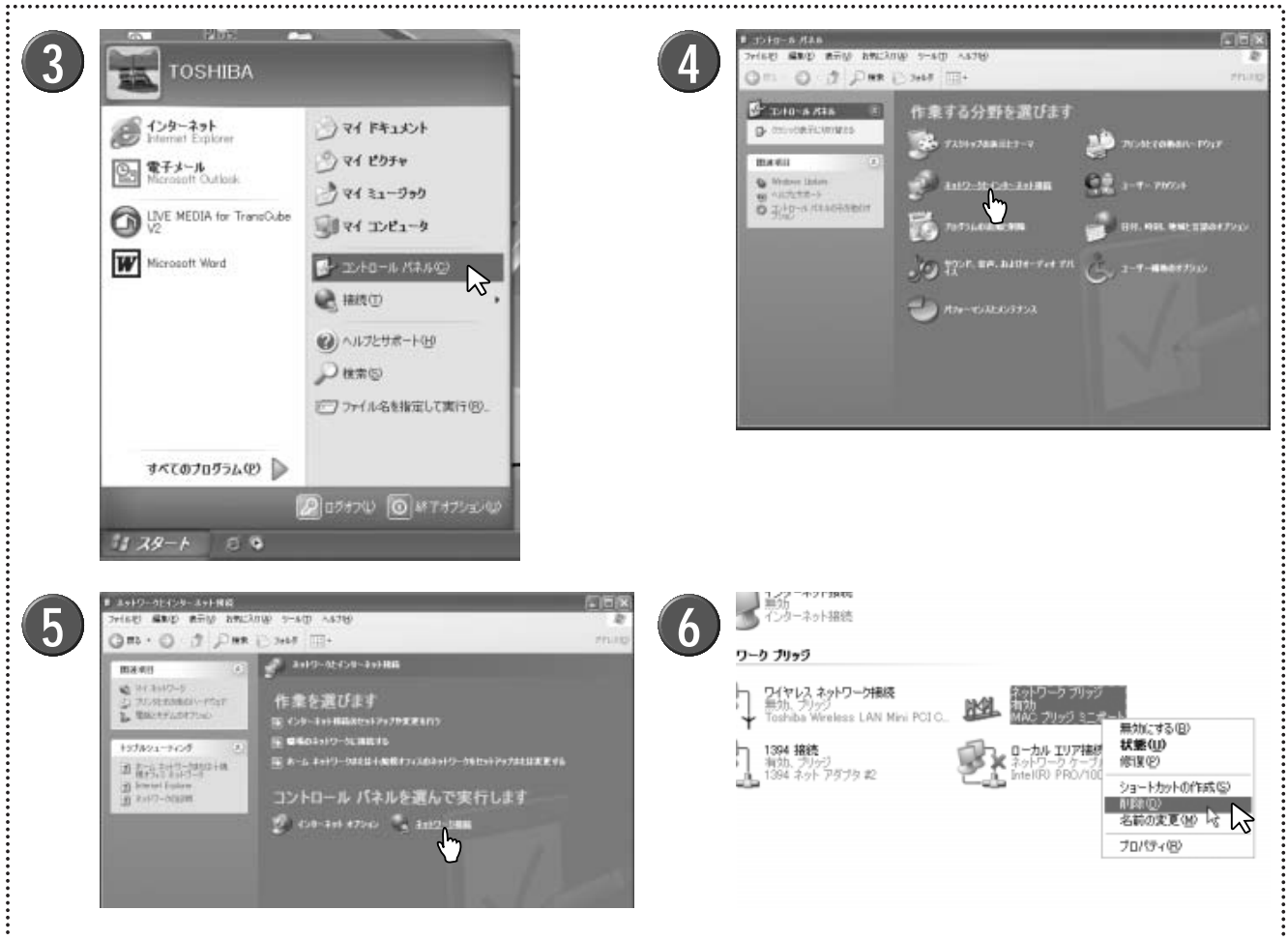


### ワンポイント

TransCubeとパソコンとを接続するLANケーブルは、シールドされたカテゴリ5以上のLANケーブルを利用してください。

# 無線LAN / 有線LAN共通の設定

TransCubeには、LANに接続されているパソコンにIPアドレスを自動的に割り当てる「DHCPサーバ」機能が搭載されています。LANに接続されたパソコンがTransCubeのDHCPサーバ機能を利用するためには、IPアドレスを自動的に取得できるようにパソコンを設定しておく必要があります。なお、商品購入時にはTransCubeのDHCPサーバ機能はONになっています。



- 1 TransCubeの電源を入れる  
▶ 本体表示窓に日付と時刻が表示され、ビデオモードLEDがオレンジに点灯すれば、TransCubeの準備は完了です。
- 2 パソコンの電源を入れる
- 3 スタートメニューから [スタート] [コントロールパネル] を選択する
- 4 「ネットワークとインターネット接続」をクリックする

- 5 「ネットワーク接続」をクリックする
- 6 「ブリッジ接続」がある場合は、「ネットワークブリッジ」アイコンを右クリックし、表示されたメニューから「削除」を選択する  
▶ Windows XPでシステムに1つ以上のネットワークカードがある場合、「ブリッジ接続」という機能が有効になることがあります。TransCubeをご利用の場合はこの「ブリッジ接続」を削除してください。  
▶ 「ブリッジ接続」を削除しても、そのブリッジ接続に含まれている個々の接続アイコンは削除されません。

はじめに

各部名称と準備

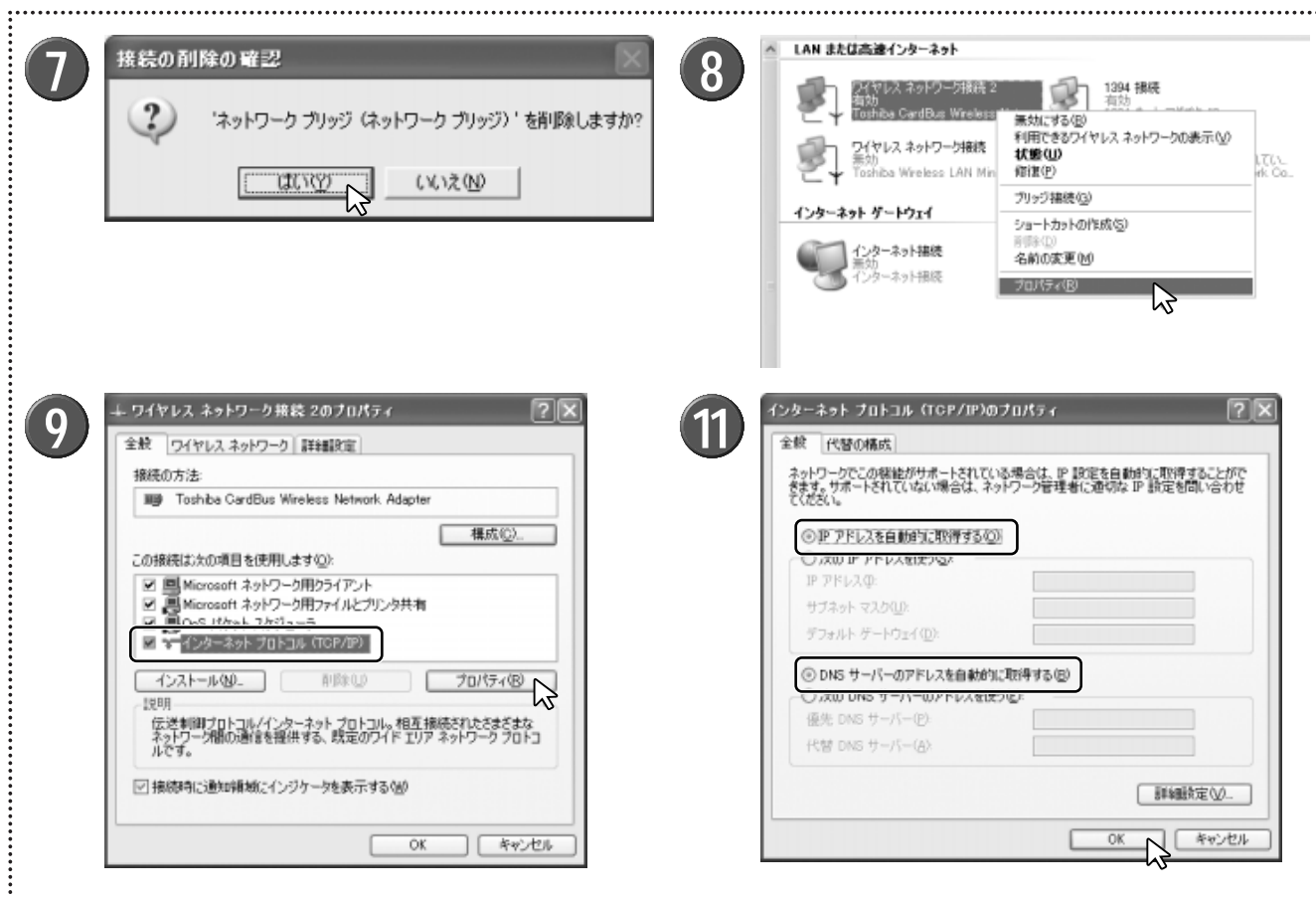
テレビなどの接続

本体の設定

パソコンとの接続

インターネットへの接続

困ったときは



7 [はい] ボタンをクリックする

8 TransCubeとの接続に使用する「接続」のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」を選択する

▶無線LANの接続アイコンは「ワイヤレスネットワーク接続」、有線LANの接続アイコンは「ローカルエリア接続」となります。

▶LAN接続が確立して使用できる状態になっているアイコンには、名前の下に「有効」と表示されます。使いたい接続が「有効」と表示されていないときは、「無線LAN接続の準備」(53ページ)、「有線LAN接続の準備」(58ページ)、「つながらないときは」(62ページ)をご覧ください。パソコンとTransCubeの間のLAN接続を確立させて接続を「有効」にしてください。

9 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする

▶「プロパティ」ダイアログボックスが表示されたら「全般」タブをクリックし、「この接続は次の項目を使用します」にある「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックします。

▶「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択したら、「プロパティ」ボタンをクリックします。

10 現在のインターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティが表示される

**お知らせ**

79ページで説明するブリッジモードでTransCubeを動作させる場合は、TransCubeのルータ機能を使用しません。TransCubeの設定を終了したあとで、「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」の設定をTransCubeを設定する前の値に戻す必要があります。79ページのブリッジモードの説明に該当する場合は、ここで表示する値を書き留めるなどしておいてください。

参照 パソコンの設定の変更 89ページ

11 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、[OK] ボタンをクリックする

**ワンポイント**

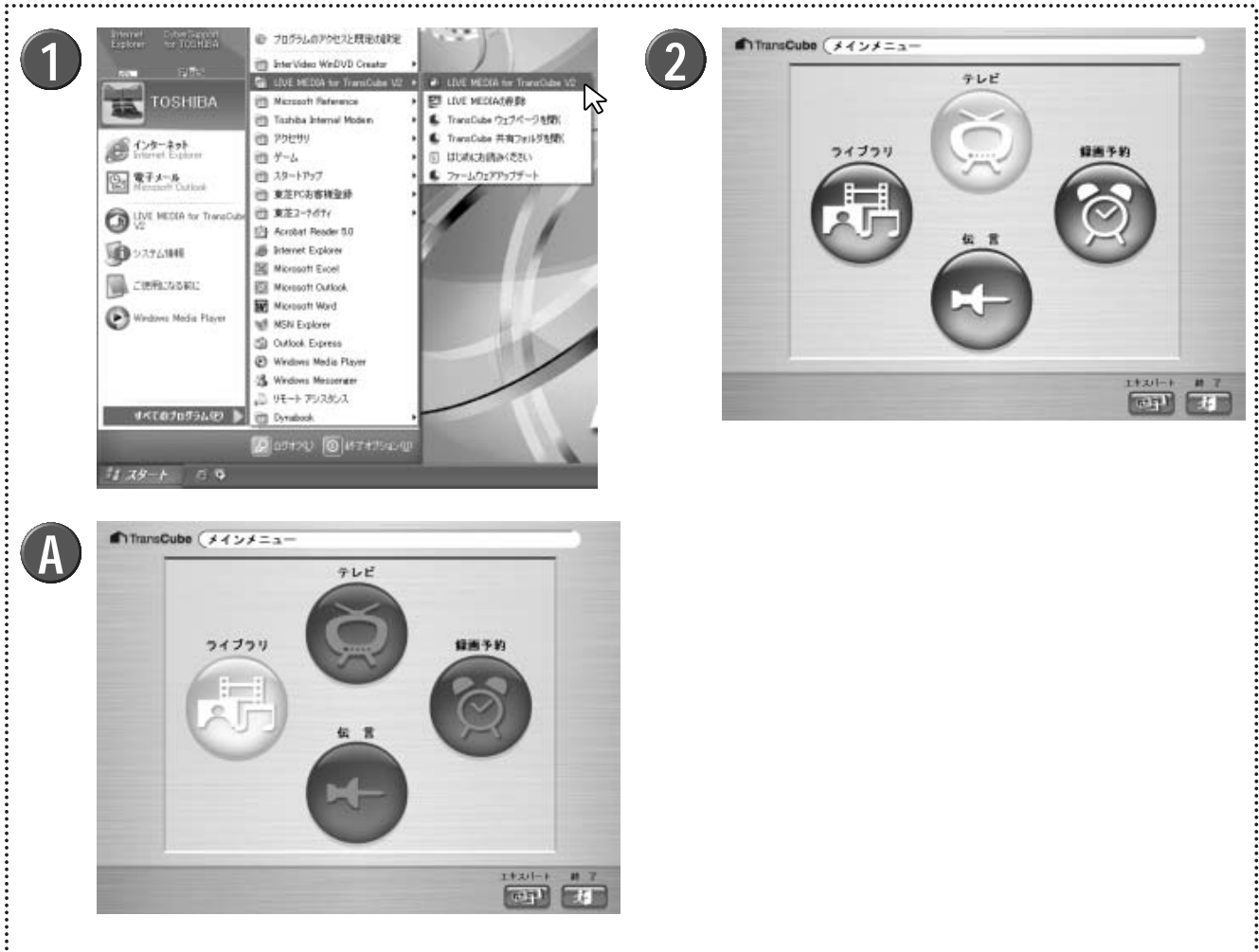
TransCubeのDHCPサーバ機能が割り当てるIPアドレスの範囲の初期値は、以下のとおりです。

・192.168.0.10 ~ 192.168.0.30



# TransCubeへの接続

TransCubeとの接続を、付属のソフトウェアLIVE MEDIA for TransCubeを起動して確認します。



**1** スタートメニューから [スタート] [すべてのプログラム] [LIVE MEDIA for TransCube V2] [LIVE MEDIA for TransCube V2] を選択する

**2** LIVE MEDIA for TransCubeが起動し、すべてのメニューが明るく表示されていることを確認する

▶すべてのメニューが明るく表示されたら、接続確認は終了です。

▶LIVE MEDIA for TransCubeが起動したあと、しばらく待ってもAのように「テレビ」「録画予約」「伝言」が暗く表示されているときは、TransCubeと接続されていません（接続が確立する時間の目安は約30秒です）。

▶接続できないときは、次の「つながらないときは」を参照してください。

はじめに

各部名称と準備

テレビなどの接続

本体の設定

パソコンとの接続

インターネットへの接続

困ったときは

# つながらないときは

TransCubeに接続できないときは、次のようなチェックを行ってください。

## 「ネットワークセットアップウィザード」を実行する

LANのように複数のパソコンを利用してインターネットに接続する場合、Windows XPの「ホームネットワークまたは小規模オフィスのネットワークをセットアップまたは変更する」を選択し、「ネットワークセットアップウィザード」を実行してください。



- 1 TransCubeの電源を入れる  
▶ 本体表示窓に日付と時刻が表示され、ビデオモード LED がオレンジに点灯すれば、TransCubeの準備は完了です。
- 2 パソコンの電源を入れる
- 3 スタートメニューから [スタート] [コントロール パネル] を選択する
- 4 コントロールパネルウィンドウが表示されたら、「ネットワークとインターネット接続」をクリックする

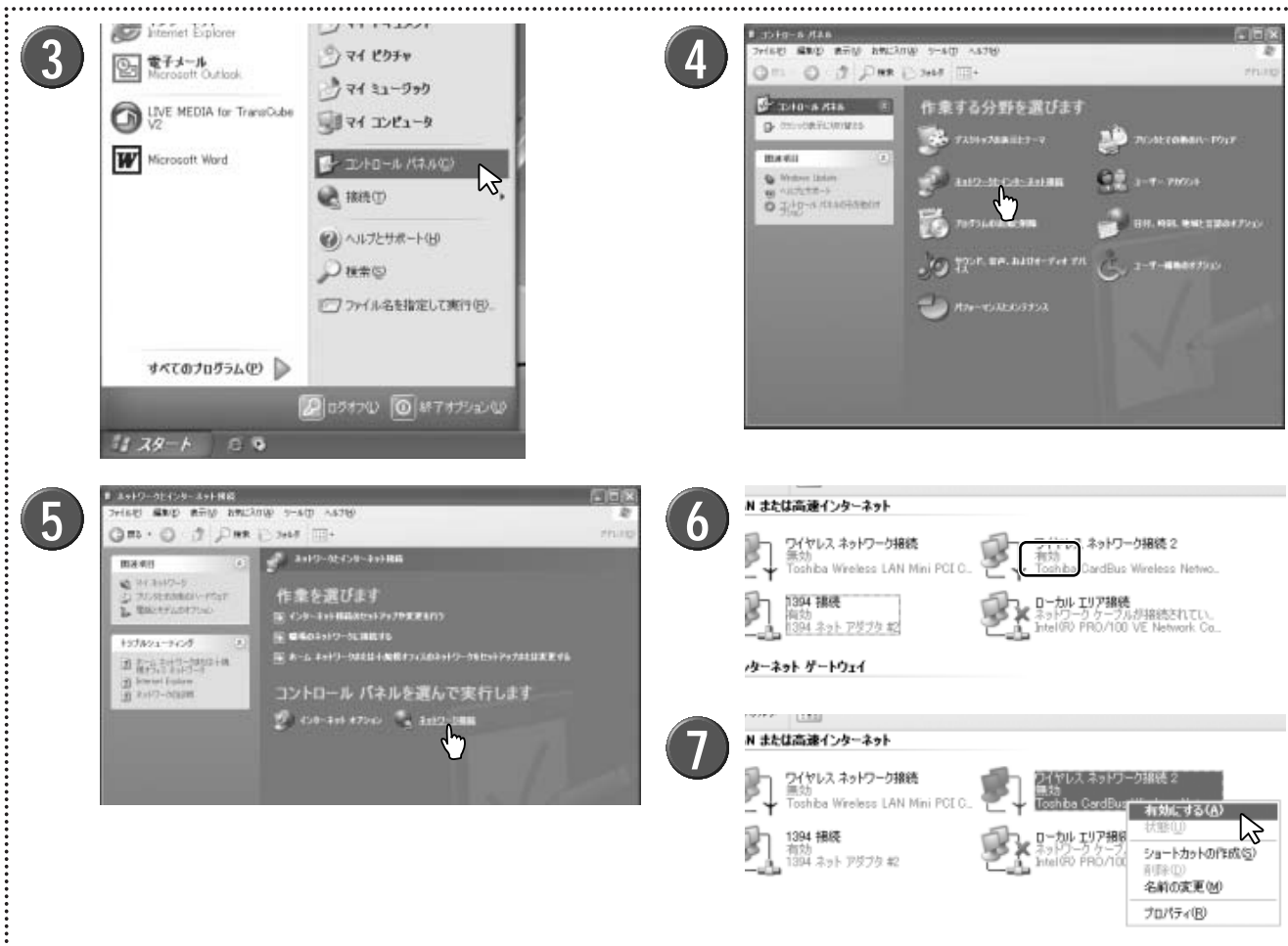
- 5 「ホームネットワークまたは小規模オフィスのネットワークをセットアップまたは変更する」をクリックする
- 6 ネットワークセットアップウィザードが起動するので、表示される指示に従って作業を進める  
▶ 「接続方法を選択してください」の画面では、「ネットワークの別のコンピュータ経由または住宅用ゲートウェイ経由でインターネットに接続している」を選択してください。  
▶ 以降の作業は、お使いのパソコンの取扱説明書などを参照してください。

## お知らせ

ネットワークセットアップウィザードの実行後は、「ブリッジ接続」が自動的に作成されることがあります。59ページの手順3～7を参照して、「ブリッジ接続」を削除してください。

## ネットワーク接続が有効かどうかを確認する

次の手順で「ワイヤレスネットワーク接続」や「ローカルエリア接続」が有効になっているかどうかを確認してください。



- 1 TransCubeの電源を入れる  
▶ 本体表示窓に日付と時刻が表示され、ビデオモード LED がオレンジに点灯すれば、TransCubeの準備は完了です。
- 2 パソコンの電源を入れる
- 3 スタートメニューから [スタート] [コントロールパネル] を選択する
- 4 「ネットワークとインターネット接続」をクリックする
- 5 「ネットワーク接続」をクリックする

- 6 「LAN または高速インターネット」の「ワイヤレスネットワーク接続」が「有効」になっていることを確認する  
▶ 有線LAN接続をご利用の場合は、「ローカルエリア接続」が「有効」になっていることを確認してください。
- 7 「無効」になっているときは「ワイヤレスネットワーク接続」アイコンを右クリックし、表示されたメニューの「有効にする」をクリックする  
▶ 有線LAN接続をご利用の場合は、「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、表示されたメニューの「有効にする」をクリックしてください。  
▶ 続いて、IPアドレスが取得できていることを確認します。

はじめに

各部名称と準備

テレビなどの接続

本体の設定

パソコンとの接続

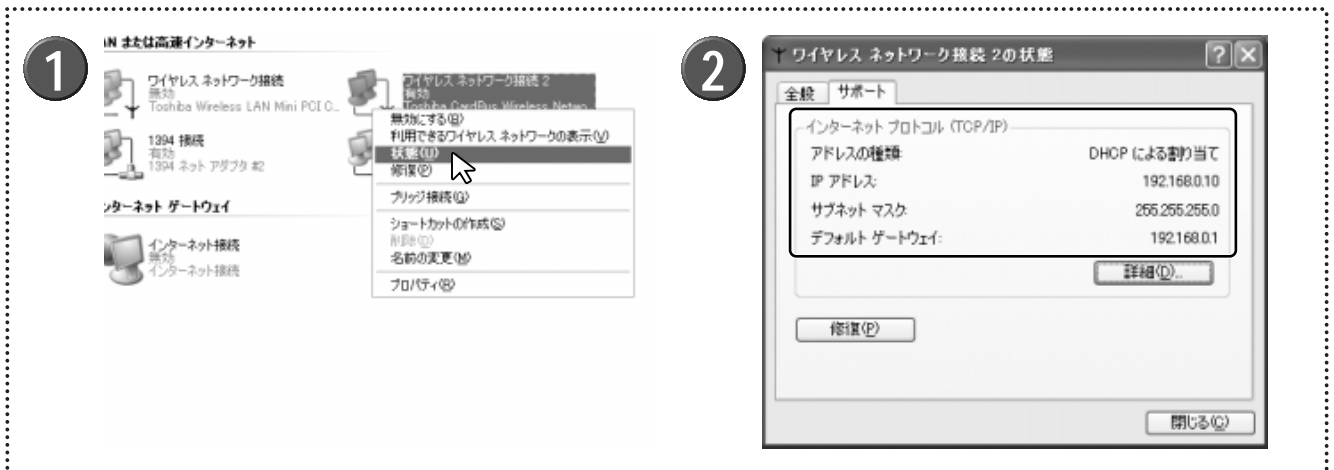
インターネットへの接続

困ったときは

## IPアドレスが自動取得できていることを確認する

TransCubeの商品購入時の初期値では、DHCPによるIPアドレスの自動割り当てがONになっています。「無線LAN / 有線LAN共通の設定」で行ったように、パソコンの設定が「IPアドレスを自動的に取得する」になっている場合、パソコンはTransCubeから適切なIPアドレスを取得して自動的に設定します。

このアドレスの自動取得が正しく機能しているかを、次のようにして確認してください(前項の操作から続けて操作するものとして説明します)。



1 「有効」にしたネットワークのアイコンを右クリックし、表示されたプルダウンメニューから「状態」を選択する

2 「ネットワークの状態」ダイアログボックスが表示されるので、「サポート」タブをクリックする

以下のようになっていればIPアドレスはTransCubeから正しく取得されています。

- ・アドレスの種類 : DHCPによる割り当て
- ・IPアドレス : 192.168.0.10 ~ 192.168.0.30の範囲
- ・サブネットマスク : 255.255.255.0
- ・デフォルトゲートウェイ : 192.168.0.1

この値はすべて商品購入時の初期値です。お客様がTransCubeのDHCPサーバ機能の設定を変更された場合は、その値に読み替えてください。

▶ IPアドレスが正しく設定されないときは、TransCubeのDHCPサーバ機能がONになっているか、確認してください。

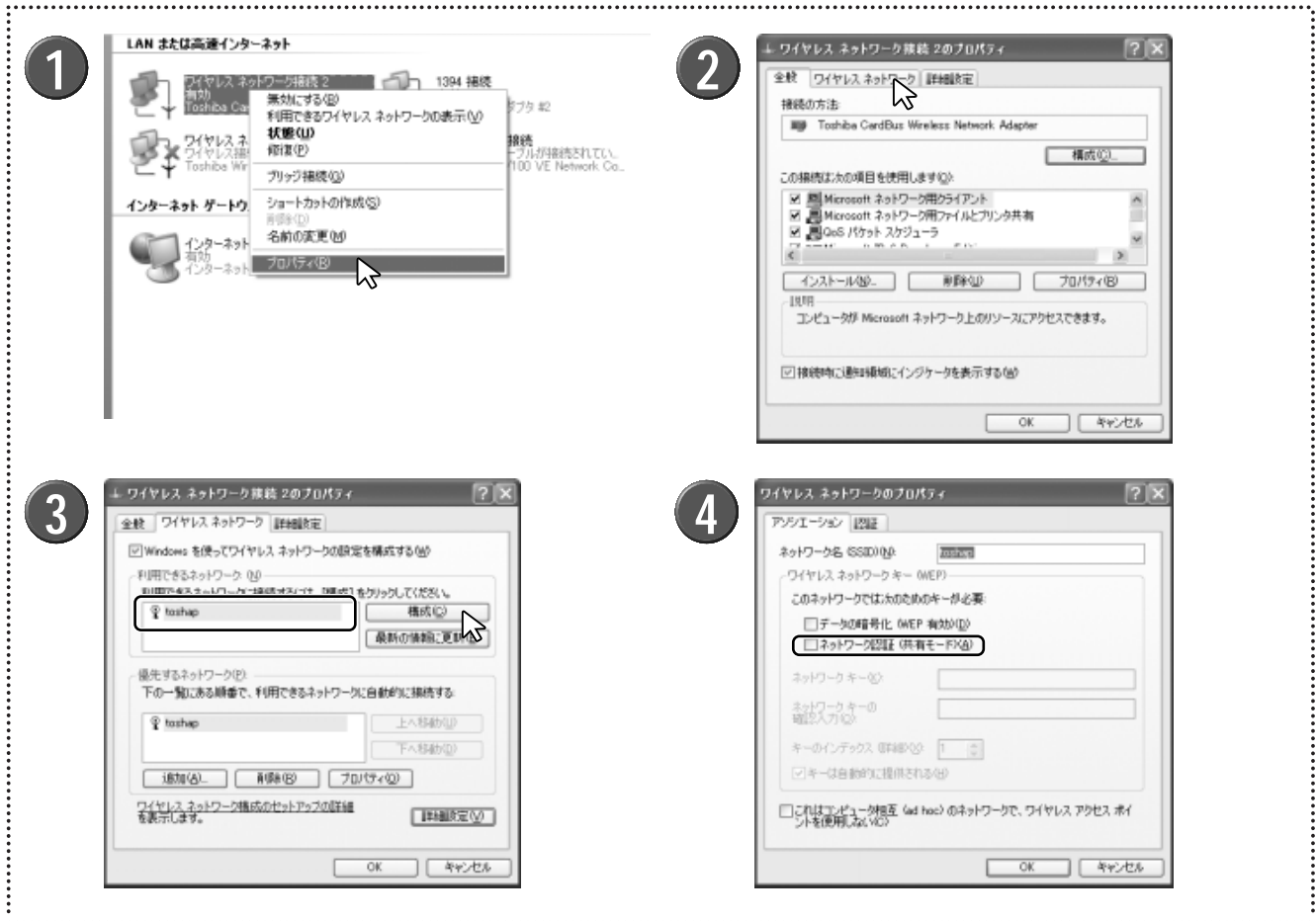
**参照** LANインターフェース ルータ設定マニュアル 44ページ

▶ TransCubeとパソコンを起動した後、IPアドレスを自動取得するまで時間がかかることがあります。正しいアドレスが表示されないときは、[閉じる] ボタンを押してダイアログボックスを閉じた後、数分待ってから同じ操作を行ってください。

## 「ネットワーク認証」の設定を確認する

TransCubeに無線LANで接続する場合は、パソコンの「ネットワーク認証（共有モード）」をOFFしておく必要があります。

「ネットワーク認証（共有モード）」は次のように確認します（前項の操作から続けて操作するものとして説明します）。



**1** 「ワイヤレスネットワーク接続」のアイコンを右クリックし、表示されたプルダウンメニューから「プロパティ」を選択する

**2** 「ワイヤレスネットワーク」タブをクリックする

**3** 利用できるネットワークの「toshap」をクリックし、[構成] ボタンをクリックする

▶ 「toshap」は商品購入時の初期値です。お客様が無線LANの「ネットワーク名（SSID）」の設定を変更された場合は、その値に読み替えてください。

▶ 「ネットワーク名の配布」の設定で「配布しない」に設定している場合は、「利用できるネットワーク」にネットワーク名が表示されない場合があります。詳しくは下記ページをご覧ください。

**参照** 無線LAN設定変更時のパソコンの設定  
ルータ設定マニュアル 13ページ

**4** 「ワイヤレスネットワークキー（WEP）」の「ネットワーク認証（共有モード）」がチェックされていないことを確認する

▶ チェックされているときは、チェックボックスをクリックしてチェックをはずしてください。

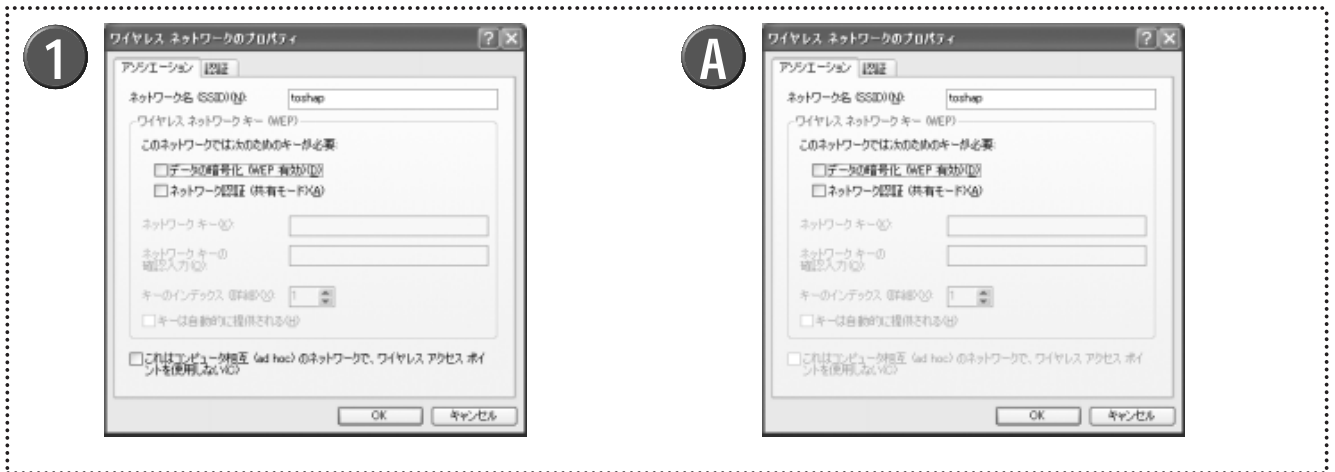
▶ TransCubeにWEPキーを設定している場合は、以下の点もご確認ください。

- ・「データの暗号化」がチェックされていること
- ・「キーは自動的に提供される」がチェックされていないこと
- ・「ネットワークキー」「ネットワークキーの確認」「キーのインデックス（詳細）」が、TransCubeに設定されたWEPキーおよびキーのインデックスと同じであること

▶ 続いて、「ad hoc」の設定を確認します。

## パソコンが「ad hoc」に設定されていないことを確認する

パソコンが「ad hoc」に設定されているとTransCubeに無線LANで接続することができません。「ad hoc」の設定は次のように確認します(前項の操作から続けて操作するものとして説明します)。



**1** 「ワイヤレスネットワークのプロパティ」ダイアログボックスの一番下にある「これはコンピュータ相互(ad hoc)のネットワークで、ワイヤレスアクセスポイントを使用しない」がチェックされていないことを確認する

▶チェックされている場合は、チェックをはずして無効にしてください。

▶Windows XPの設定によっては、**A**の画面のようにチェックができない場合がありますが、この場合は変更する必要はありません。

## パソコン本体の「無線LANスイッチ」を確認する

パソコン内蔵の無線LANを使用する場合に、ご利用のパソコン本体に「無線LANスイッチ」があるときは、スイッチをONにしてください。詳しくはご利用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。